

参考資料

資料 1	関連上位計画（第 4 次札幌市長期総合計画）の概要.....	1
資料 2	都心の現況と特性.....	3
資料 3	計画策定過程.....	4
	1) 策定協議会	
	2) 専門課題検討会	
	3) 札幌都心まちづくりフォーラム 2 0 0 1	
	4) 市民・来街者の活動・意識の把握	
	5) 基本的組立て及び素案の公表、意見募集	

資料1 関連上位計画（第4次札幌市長期総合計画）の概要

第4次札幌市長期総合計画（以下「長期総合計画」という。）では、21世紀の札幌のまちづくりの基本的な方向として、

「市民一人ひとりの暮らしの充実とそれを支えるまちづくり」

「環境と調和した活力と創造性に富んだまちづくり」

以上の2つを掲げており、これらを実現するための最も中心的な拠点として都心を位置づけている。

また、基本構想で掲げる「北方圏の拠点都市」「新しい時代に対応した生活都市」のふたつの都市像を受け、都心を「多中心核都市構造の中心」としたうえで、魅力的で活力ある都心整備の目標を掲げるとともに、重点的に整備に取組むべき4つの骨格軸と5つの主要ゾーンを設定し、整備の方向性を示している。

〔魅力的で活力ある都心整備の目標〕

【1】環境との共生と都市個性の伸長

人と自然が調和したまちづくりの理念が象徴的に表現されるオープンスペースの確保
都心に残されている歴史的資源を活用・再生した札幌の魅力の向上につながる空間の形成
歩行者や環境を重視した人にやさしい交通の実現

【2】活発な諸活動の展開

相互に連携・影響しあう各種事業活動の効率的な展開，多様な都市サービスの提供
内外の人のさまざまな交流，情報の受発信，芸術文化活動が活発に展開される場の形成

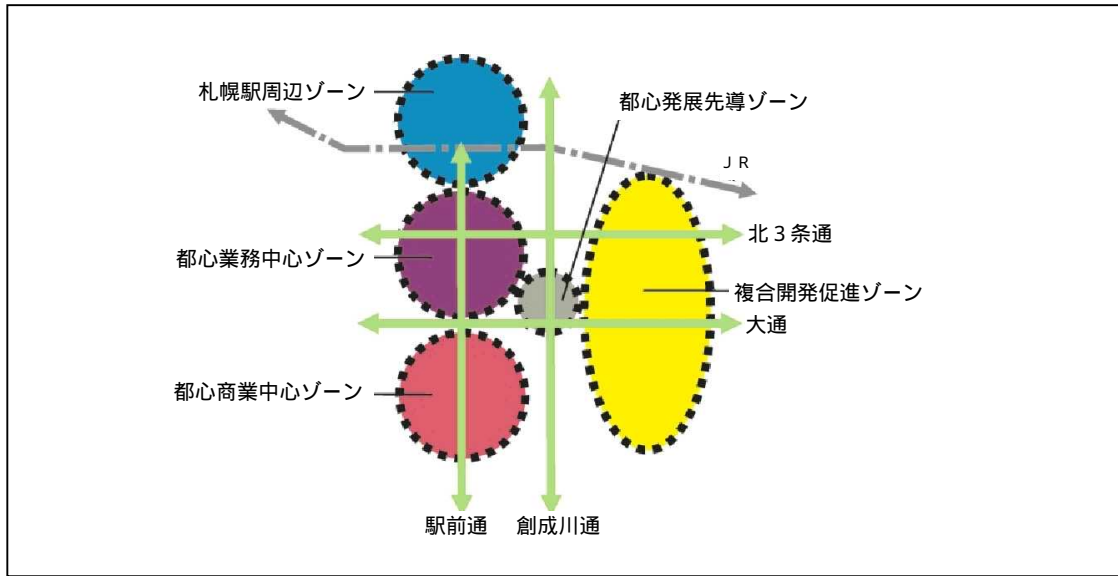


図 主要ゾーンと骨格軸

表 主要ゾーンと骨格軸の整備方針

主要ゾーン	札幌駅周辺ゾーン	札幌の玄関口として都心整備の2つの目標を具現化するモデル拠点を形成 駅南口一帯は、高次都市機能が複合化した開発と都市基盤施設を一体的に推進 駅北口一帯は、情報関連産業の一層の集積を図るなど、産業を育成する場を形成
	都心業務中心ゾーン	中枢管理機能の集積地、札幌本府発祥の地として、風格のある良質な空間形成を誘導
	都心商業中心ゾーン	全体として回遊性の高い一体的な商業ゾーンの形成に向けた機能更新や空間整備を促進 歩行者専用ゾーンの設定や歩行者重視の中通りの整備等、快適な歩行空間を確保
	都心発展先導ゾーン	札幌発展の基点としての歴史的価値を生かし都心の新たな発展に向けた拠点として再生 大通の連続化や豊平川方面への延伸、創成川以東地域の発展を先導 これからの都心が備えるべき空間や機能、都市基盤施設のモデルとなる拠点開発を促進
	複合開発促進ゾーン	先行的な拠点開発、大通延伸への期待、残されている開発余地などを資源として活用 経済活動の機能と多様な居住形態やライフスタイルが複合化した新たな都心づくり
骨格軸	大通	都心の中心的オープンスペースを軸とした人の多様な活動を支える環境の向上 段階的な連続化や水路の整備などにより、ゆたかで魅力的な空間を提供 創成川以東の発展の中心軸として、大通を東方向に延伸
	駅前通	南北方向の中心的な軸として歩行者重視の空間整備を促進 快適な重層的歩行者動線の整備、沿道の空地や緑の連続的の確保、魅力的な景観の形成
	創成川通	創成川通のアンダーパス化による通過交通の円滑な処理 創成川の親水空間化による南北方向のオープンスペースの軸の形成
	北三条通	歴史性を生かした景観軸、都心の魅力を東方向に発展させる軸 歴史的資源の保存・再生と、人が集い楽しめる機能の確保、魅力的な街並みの形成

資料2 都心の現況と特性

都市形成の歴史的資産

明治2年 札幌本府建設
現北海道庁周辺の20街区に設置。現在も比較的規模の大きい建築物が立地している。

明治4年 格子状の市街地が設定
創成川(運路、農業用水路、工業用水路等としても活用)・大通(南北の防火線として設置)が南北の基軸とされた。

明治13年 札幌停車場設置
現駅前通沿線に商業機能が集積した。

明治19年 勸農勸業・殖産興業
北海道庁の設置とともに本府を支える産業機能が現在の苗穂駅周辺に集積した。北三条通沿いには現在も産業遺構が点在している。

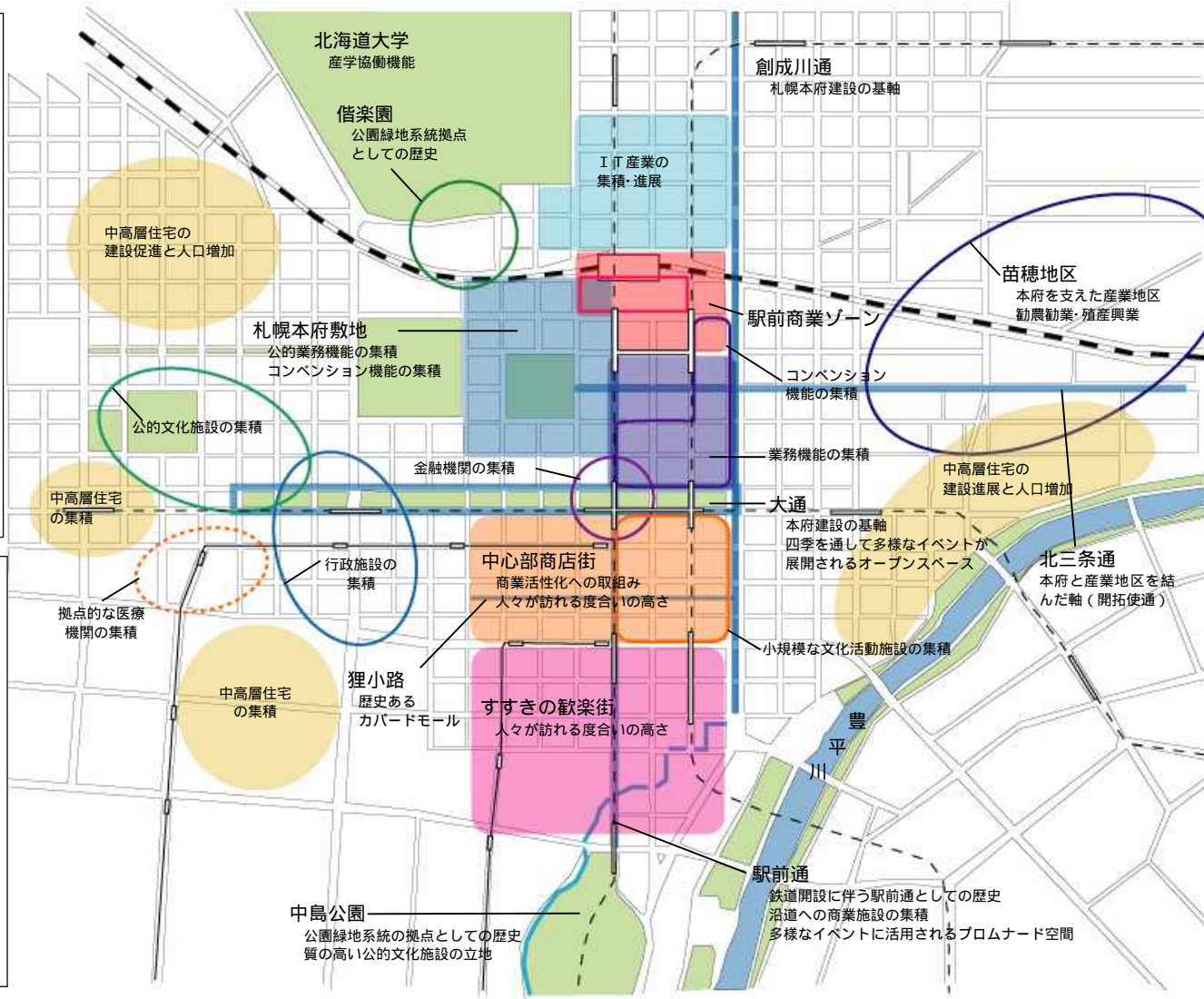
公園緑地系統
中島公園・円山公園・偕楽園は、公園緑地系統の拠点として整備された。

経済活動・交流活動施設の立地状況

業務施設の集積
札幌駅北口周辺(IT産業)、旧道庁周辺、駅前通東側、大通沿道(大規模業務施設)、創成川通東側(小規模業務施設)

商業施設の集積
大通以南～国道36号(大規模店舗、小売業の集積)、札幌駅周辺(大型店舗、札幌駅南口再開発に伴う大型店舗の集積の進展)

集客交流資源
歴史的資産：旧道庁赤レンガ、札幌時計台、札幌資料館、札幌麦酒工場など
集会施設：北海道を代表する大規模ホールなど



オープンスペース文化活動施設の立地状況

公園・緑地
大通公園(四季を通じて多彩な文化的イベントが開催され、活動性が高い)
豊平川(豊かな水辺環境と連携した安らぎの場、スポーツの場)
中島公園(質の高いコンサートホールが立地するオープンスペース)
JR札幌駅の南口及び北口(人々の集積がみられる広場)

インナーオープンスペース
地下街、地下歩道、狸小路(歴史あるカバードモール)

公共文化施設
大通以北・駅前通西側に集積(厚生年金会館、教育文化会館、道立近代美術館など)

小規模なギャラリー・貸スタジオなど
大通を挟んだ一帯に広く立地

生活関連施設の立地状況・人口動向

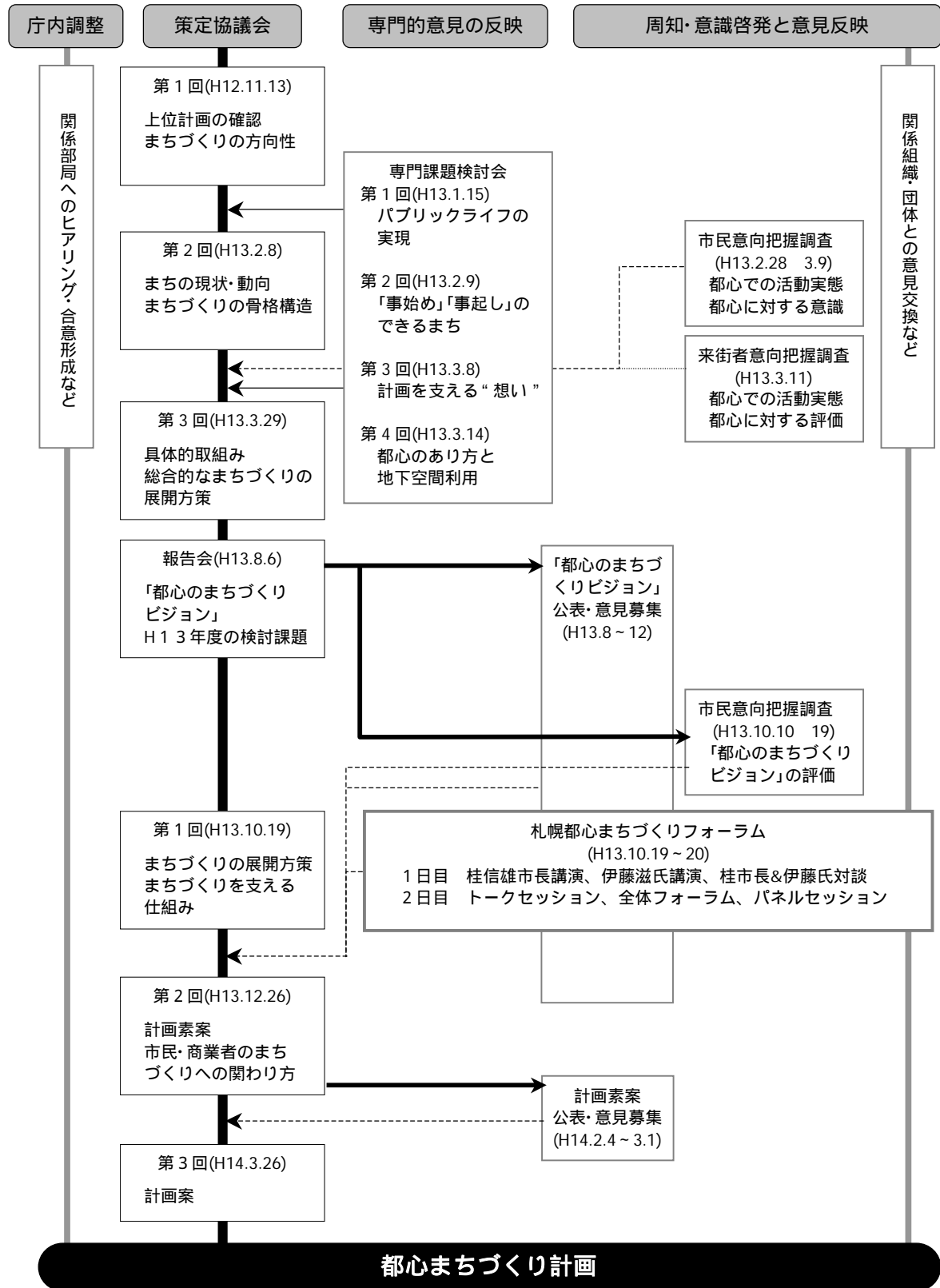
人口動向
中央区の人口はこれまで減少傾向が続いていたが、平成12年度国勢調査で増加傾向に転じた。特に創成川東側及びJR桑園駅周辺において大幅な増加がみられる。

中高層住宅の立地状況
豊平川沿道、札幌駅北口周辺、JR桑園駅周辺、大通西側、また大規模医療施設の周辺で集積がみられる。

行政施設
大通以北～札幌駅にかけての一帯と、大通西11丁目付近に集中している。

資料3 計画策定過程

〔計画策定過程〕



1) 策定協議会

開催経緯

〔平成12年度〕

第1回 平成12年11月13日(月)

札幌市の上位計画における都心の位置づけを確認し、上位計画をふまえた検討視点から都心のまちづくりの方向性について検討

第2回 平成13年2月8日(木)

まちづくりの方向性の確認をするとともに、都心の現状や動向、関連計画などをふまえて導き出された都心のまちづくりの骨格構造について検討

第3回 平成13年3月29日(木)

まちづくりの骨格構造を形成するための具体的なプロジェクトの内容と、プロジェクト間の関係性をふまえた総合的なまちづくりの展開方策について検討

報告会 平成13年8月6日(月)

平成12年度の中間報告「都心のまちづくりビジョン」及び今後の検討課題とスケジュールについて確認

〔平成13年度〕

第1回 平成13年10月19日(金)

まちづくり展開の考え方と、まちづくりを支える仕組みのあり方について検討

第2回 平成13年12月26日(水)

計画素案をもとに、計画公表後の市民・商業者の関わり方や計画管理の必要性について検討

第3回 平成14年3月26日(火)

計画案について検討

構成員（敬称略）

顧問	早稲田大学理工学部 教授	伊藤 滋
座長	北海道大学大学院工学研究科 教授	小林 英嗣
委員	株式会社 三菱総合研究所海外開発事業部 研究員	伊藤 美保
	札幌市商店街振興組合連合会 理事長	岩井 滉
	北海道大学大学院 経済学研究科 教授	内田 和男
	社団法人 札幌市身体障害者福祉協会会長 2002年第6回DPI世界大会札幌大会組織委員会会長	神田 直也
	工学院大学工学部建築都市デザイン学科教授 株式会社 アーバン・ハウス都市建築研究所代表	倉田 直道
	狸小路商店街振興組合理事長	竹内 宏二
	札幌中心部商店街活性化協議会 会長	富樫 英樹
	フリーキャスター	林 美香子
	札幌商工会議所常務理事・事務局長	向井 慎一
	イベント・プロデューサー 株式会社ケーピー代表取締役	森下 慶子
	札幌市 企画調整局 計画部長	千葉 守
	企画調整局 総合交通対策部長	横山 直満
	経済局 産業振興部長	池田 捨成
アドバイザー	国土交通省土地・水質源局土地情報課 課長補佐	田村 隆
事務局	札幌市企画調整局企画部	
	社団法人北海道開発問題研究調査会	

2) 専門課題検討会

第1回 平成13年1月15日(月)

講師：倉田直道氏(工学院大学教授、株式会社アーバン・ハウス
都市建築研究所代表取締役)

テーマ：都心の活性化 パブリックライフの実現

海外事例をふまえたパブリックライフの紹介と、都心におけるパブリックライフの実現に向けた取組みなどについての提案を受け、意見交換を行った。

第2回 平成13年2月9日(金)

講師：森下慶子氏(株式会社ケーピー代表取締役
イベントプロデューサー)

テーマ：「事始め」「事起こし」のできる“まち”

イベント開催などを通じたまちづくりを進めてきた経験をふまえ、まちづくりを進めるために必要なパートナーシップのあり方などについての提案を受け、意見交換を行った。

第3回 平成13年3月8日(木)

講師：田中珍彦氏(株式会社 東急文化村 専務取締役)

テーマ：計画を支える“想い”

東急文化村の設立に至るまでの経緯と設立者の“想い”の紹介を通じ、まちづくりにおける人々の“想い”の必要性などについての提案を受け、意見交換を行った。

第4回 平成13年3月14日(水)

講師：正木範昭氏(株式会社 日建設計 土木事務所長)

テーマ：札幌都心部のあり方と地下空間利用について

広島県紙屋町地下街の建設までの経緯や課題などの紹介と、札幌都心部の特性などをふまえた都市軸や地下ネットワークのあり方についての提案を受け、意見交換を行った。

3) 札幌都心まちづくりフォーラム2001

プログラム

1日目 平成13年10月19日(金) 18:30~20:30

講演1 「新しい時代の札幌都心のまちづくり」

札幌市長 桂 信雄

講演2 「世界都市・札幌への期待」

早稲田大学理工学部教授 伊藤 滋氏

対談 「世界都市にふさわしい札幌都心づくりの展望」

札幌が世界都市にふさわしい魅力を持つための都心づくりのビジョンと、札幌にある可能性を引き出し、望ましい都心を形成していくための戦略について

桂 信雄氏 & 伊藤 滋氏

コーディネーター 林 美香子氏

2日目 平成13年10月20日(土)

トークセッション(同時開催) 13:00~15:00

セッション1 コンベンション都市戦略と都心

集客交流促進の中心課題であるコンベンション都市戦略に関連し、その基本的な方向性、都心に求められる機能・活動などについて

コーディネーター：京都デザイン研究所 代表取締役

川口 直木氏

コメンテーター：札幌市総務局東京事務所 副所長

井上 力氏

(株)ウエス 代表取締役

小島紳次郎氏

国際交流コーディネーター

杉岡 昭子氏

(社)すすきの観光協会 会長

久末 聖治氏

セッション2 札幌の都市文化を育成・発信する都心

札幌が持つ個性や魅力をふまえた都市文化の特性と、それらを育成し、世界へ発信していくための取組みや仕掛けについて

コーディネーター：フリーキャスター	林 美香子氏
コメンテーター：(株)東急文化村 副社長	田中 珍彦氏
北海道大学国際広報メディア研究科 教授	常田 益代氏
P M F 組織委員会 事務局長	前田 龍一氏
北海道立近代美術館 館長	水上 武夫氏

セッション3 これからの時代の都心インフラ

成熟社会の中で、都心の魅力と活力を高めることを指向する都心インフラ（オープンスペース、交通ネットワーク等）のあり方、それを実現するための取組みや仕掛けについて

コーディネーター：室蘭工業大学工学部建設システム工学科 助教授	田村 亨氏
コメンテーター：(財)計量計画研究所研究部交通系 次長	鈴木 紀一氏
北海道新聞 編集委員	高橋 純二氏
札幌中心部商店街活性化協議会 会長	富樫 英樹氏

セッション4 都心のまちづくりを展開する仕組み

都心のまちづくりを推進していくために必要なパートナーシップのあり方や組織イメージについて

コーディネーター：工学院大学工学部建築都市デザイン学科 教授	倉田 直道氏
コメンテーター：東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 助教授	北沢 猛氏
札幌駅前通振興会 幹事	田上 建夫氏
(株)近沢レース 代表取締役社長	近沢 弘明氏
南一条地区開発事業推進協議会 代表 会長	松山 保則氏

全体フォーラム 15:30～17:00

1 日目の講演及び各セッションでの議論をふまえ、今後の都心のまちづくりの取組課題、行政・民間それぞれの役割、具体的展開のための仕組みなどについて

コーディネーター：北海道大学大学院教授	小林 英嗣氏
コメンテーター：早稲田大学理工学部教授	伊藤 滋氏
都心フォーラム実行委員会 委員長	岩井 滉氏
京都デザイン研究所 代表取締役	川口 直木氏
フリーキャスター	林 美香子氏
室蘭工業大学工学部建設システム工学科 助教授	田村 亨氏
工学院大学工学部建築都市デザイン学科 教授	倉田 直道氏

まちづくりパネルセッション 10:00～17:00

都心のまちづくりに関わる取組み・活動について、市内の8団体からパネルを使ったプレゼンテーションが行われた。

参加者数

10月19日(金) 約400名

10月20日(土)

トークセッション

セッション1 52名 / セッション2 30名

セッション3 50名 / セッション4 67名

全体フォーラム 約150名

パネルセッション 約150名参観

4) 市民・来街者の活動・意識の把握

札幌市民意向把握調査

調査内容 : 都心における活動実態及び都心に対する意識

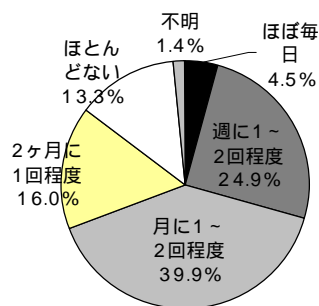
調査方法 : アンケート調査(郵送配布・郵送回収)

調査対象 : 札幌市民 2,996人

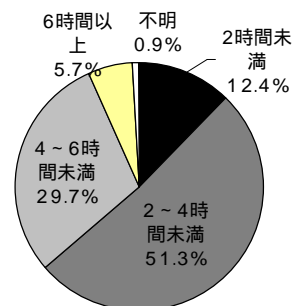
有効回収数 : 848サンプル(有効回収率 28.3%)

調査期間 : 平成13年2月28日(水)~3月9日(金)

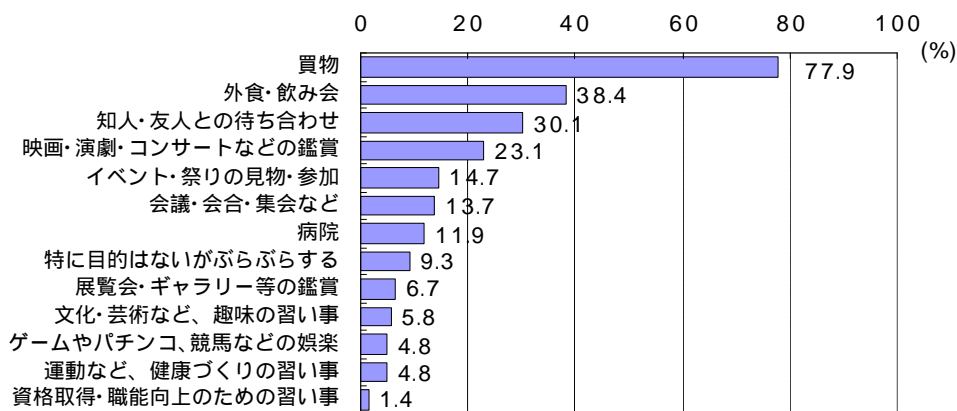
通勤・通学以外で都心へ来る頻度



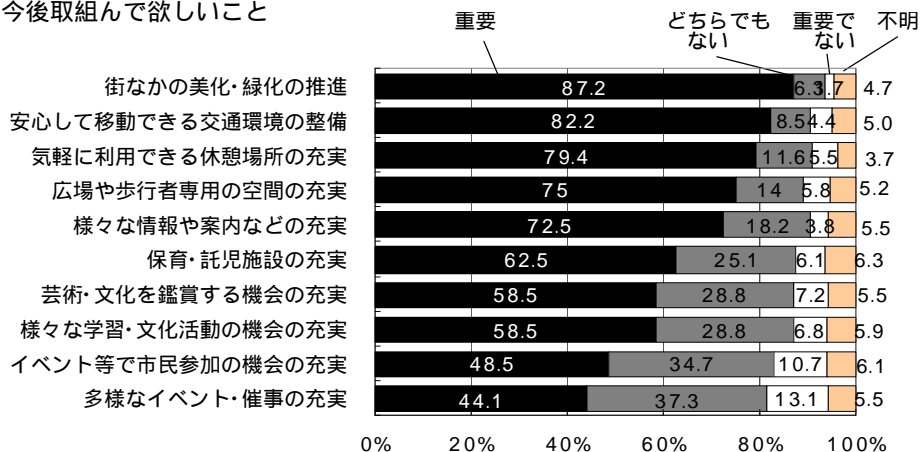
都心で過ごす時間



都心へ行く目的(通勤・通学以外)



今後取組んで欲しいこと



来街者意向把握調査

調査内容：都心での活動実態及び都心に対する評価

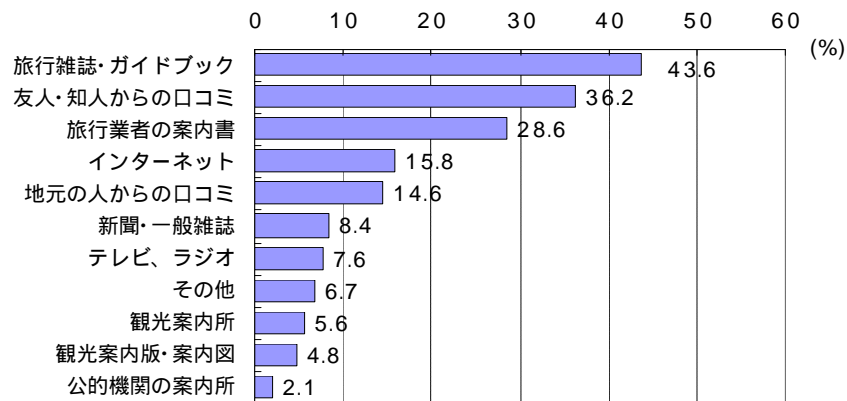
調査方法：アンケート調査（新千歳空港搭乗口付近にて直接配布・直接回収）

調査対象：札幌市以外から札幌を訪れた新千歳空港利用者

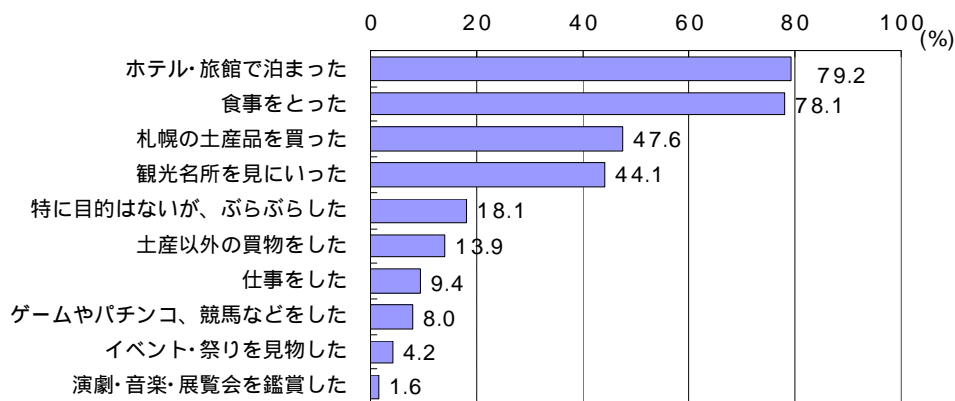
有効回収数：944サンプル

調査期間：平成13年3月11日（日）

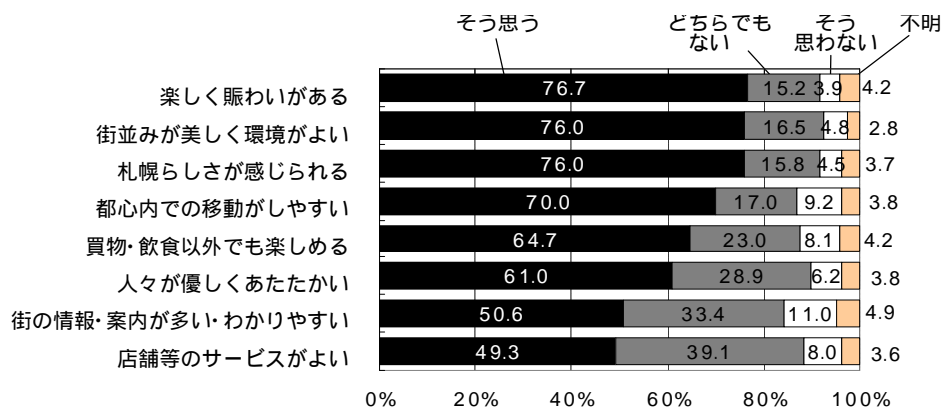
札幌の情報収集手段



都心での活動



都心の評価



5) 基本的組立て及び素案の公表、意見募集

札幌市民意向把握調査

調査内容：「都心のまちづくりビジョン」に対する評価・意見の募集

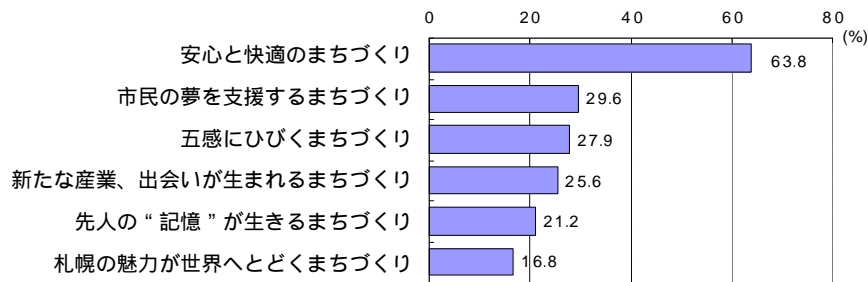
調査方法：アンケート調査（郵送配布・郵送回収）

調査対象：札幌市民 2,996人

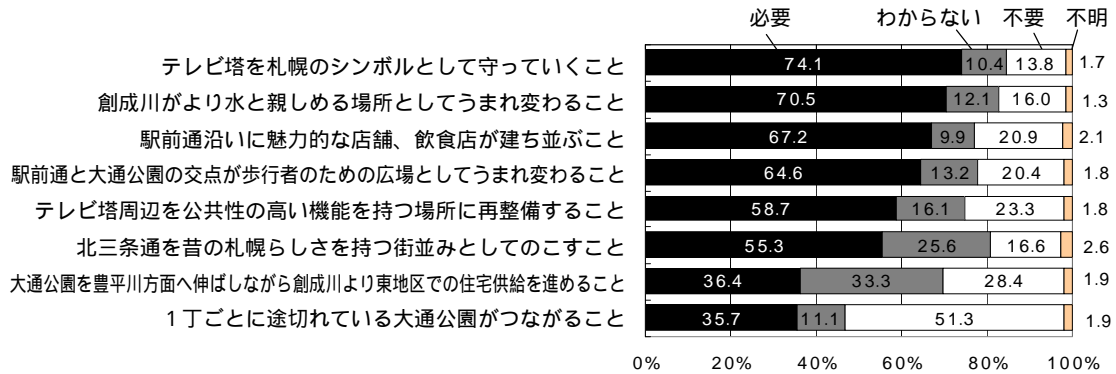
有効回収数：892サンプル（有効回収率 29.8%）

調査期間：平成13年10月10日（水）～10月19日（金）

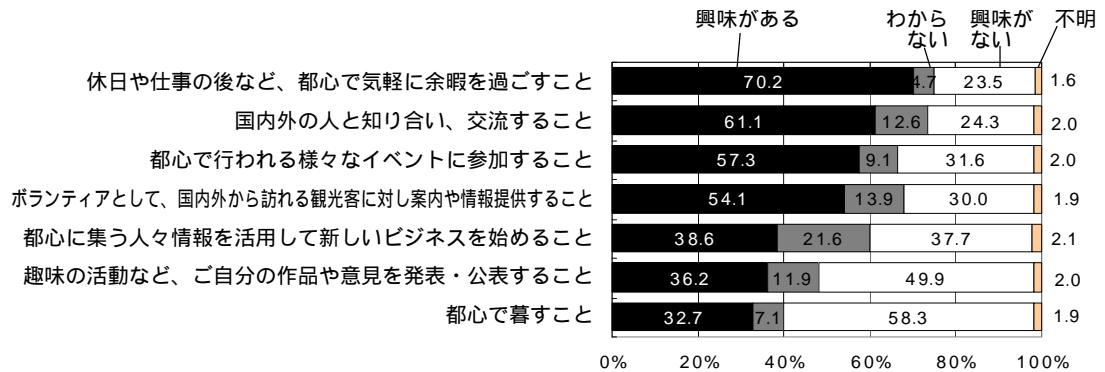
6つの方針に対する評価



まちづくりの提案に対する評価



都心での活動に対する関心



都心まちづくりビジョンの公表

期 間：平成13年8月～12月末

手 段：「都心のまちづくりビジョン」パンフレットの配布、インターネットによる公表・意見募集、
広報札幌での通知

(都心のまちづくりビジョン パンフレット)



素案の公表

期 間：平成14年2月4日(月)～3月1日(金)

手 段：素案配布、インターネットを通じた素案公表・意見募集、広報札幌での通知